

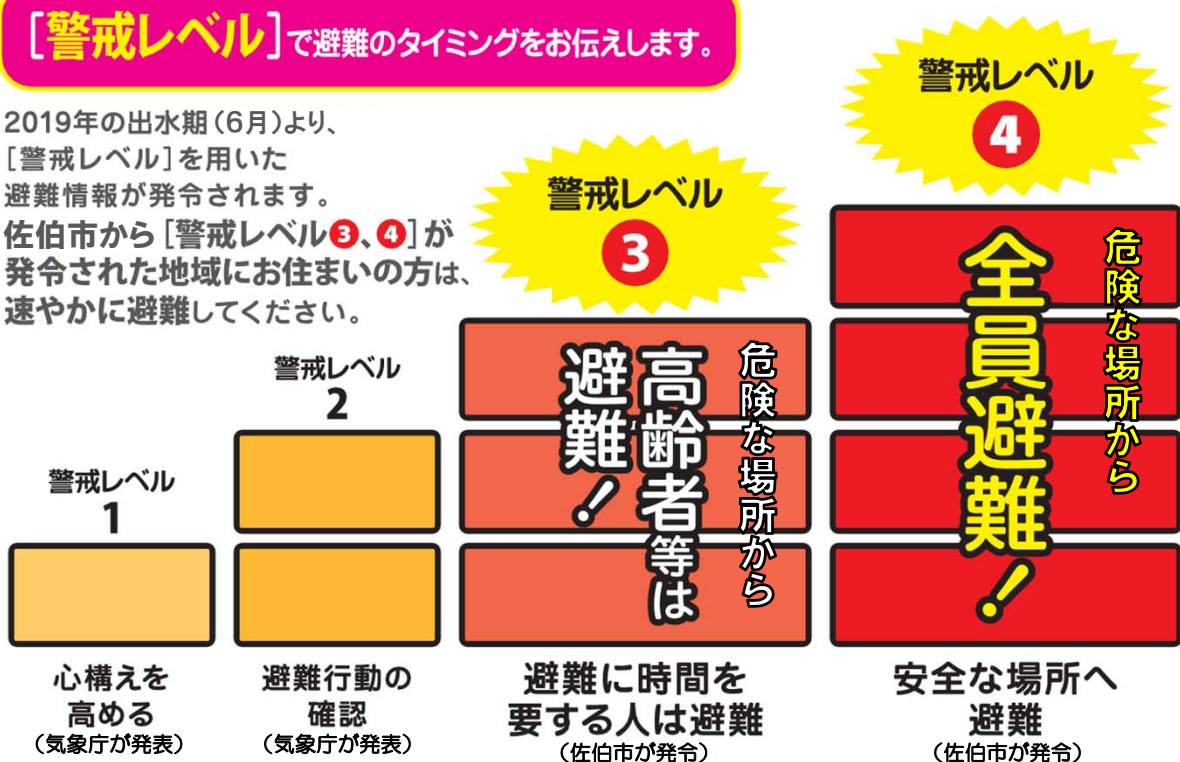
逃げ遅れゼロへ！

防災情報はいろいろあるけど
いつ避難すればいいの？

警戒レベル4で全員避難！！

【警戒レベル】で避難のタイミングをお伝えします。

2019年の出水期（6月）より、
【警戒レベル】を用いた
避難情報が発令されます。
佐伯市から【警戒レベル3、4】が
発令された地域にお住まいの方は、
速やかに避難してください。



【警戒レベル5】（佐伯市が発令）は既に災害が発生している状況です。

！ 次のような内容で佐伯市から避難行動を呼びかけます！

呼びかけの
一例

警戒
レベル
4

避難
勧告の
伝達
文例

- 緊急放送、緊急放送、警戒レベル4、避難勧告発令。
緊急放送、緊急放送、警戒レベル4、避難勧告発令。
- こちらは、佐伯市防災危機管理課です。
- 〇〇地区に土砂災害に関する警戒レベル4、避難勧告を発令しました。
- 土砂災害の危険性が高まっています。
- 〇〇地区の方は、速やかに危険な場所から全員避難を開始してください。
- 避難場所への避難が危険な場合は、近くの安全な場所に避難するか、屋内の高いところに避難してください。

警戒レベルと避難情報を端的に伝えます

避難勧告の発令を伝えます

災害が切迫していることを伝えます

とるべき行動を伝えます

水害や土砂災害から自らの命、家族の命を守るために！

適時適切な避難を行うために、家族や地域で確認しましょう。

①自宅や学校・職場には、どのような危険があるのか確認しましょう。

- 佐伯市が作成しているハザードマップや地域防災計画を見て、河川が氾濫した場合には何m浸水してしまうのか、土砂災害が起こりやすい場所ではないか等、自宅や学校・職場等のよく立ち入る場所には、どのような危険があるのか確認しましょう。
- 佐伯市が指定している避難場所を確認し、そこまでの経路や移動手段について計画しておきましょう。
- ホームページ等で危険性や避難場所の確認ができない場合は、防災危機管理課または、各振興局までお問い合わせください。

②行政機関から提供される防災情報について確認しましょう。

- 佐伯市から発令される避難情報等、国や都道府県から提供される防災気象情報には、以下のものがあります。

《避難情報等》		《防災気象情報》	
警戒レベル	避難行動等	避難情報等	警戒レベル相当情報(例)
警戒レベル5	既に災害が発生している状況です。 <u>命を守るための最善の行動</u> をとりましょう。	災害発生情報 災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令（佐伯市が発令）	警戒レベル5相当情報 氾濫発生情報 大雨特別警戒 等
警戒レベル4 全員避難	速やかに危険な場所から避難先へ避難しましょう。 公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難勧告 避難指示(緊急) 地域の状況に応じて緊急的又は重ねて避難を促す場合等に発令（佐伯市が発令）	警戒レベル4相当情報 氾濫危険情報 土砂災害警戒情報 等
警戒レベル3 高齢者等は避難	避難に時間を要する人(高齢の方、障がいのある方、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	避難準備・ 高齢者等避難開始 (佐伯市が発令)	警戒レベル3相当情報 氾濫警戒情報 洪水警戒 等
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報等 (気象庁が発表)	これらは、住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。 警戒レベル相当情報が出されたとしても必ずしも同じ時間または区域に同じレベルの避難勧告等が発令されるとは限りません。 また、例えば、土砂災害の警戒レベル4相当情報が発表された後に、洪水の警戒レベル3相当情報が発表されるなど、異なる災害について、異なるレベルの情報が発表される場合があることに留意してください。
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 (気象庁が発表)	

③もしもの時に備えて考えておきましょう。

- 例えば、以下のような状況も考えられることから、緊急的な対応について、事前に考えておきましょう。

例1:大雨等により、避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くのより安全と思われる建物（最上階が浸水しない建物、川沿いでない建物等）に移動しましょう。

例2:外出すら危険と思われる場合は、建物内のより安全と思われる部屋（上層階の部屋、山からできるだけ離れた部屋）に移動しましょう。